



晃陽

第5号

～生徒が安心して力を発揮できる学校～

<目指す生徒像>

- たしかな学力をもつ生徒
- 豊かな心をもつ生徒
- 強い体力・気力をもつ生徒

晃陽は
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

学校だより 令和2年9月2日

宇都宮市立晃陽中学校長 大島 誠

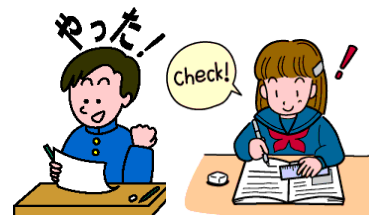
厳しい残暑！ 期末テスト迫る！

8月17日（月）に授業が再開してから2週間がたちました。2年前の猛暑を思い起こすような厳しい暑さが続いていましたが、晃陽中の生徒たちは授業に部活動に大粒の汗をかきながら、一生懸命がんばっています。



そんな暑さの中、保護者の皆様には、三者懇談では大変お世話になりました。20分間という短い時間ではありましたが、担任の先生とお子様の学校生活や家庭での生活の様子などについて有意義な話し合いができたと思います。特に今年度は、新型コロナウイルス感染症に係る対応のため授業参観や保護者会等を中止したことにより、担任の先生と話をするのは今回が初めてという保護者の方もいらしたのではないかと思います。三者懇談で話していただいた内容を、これからの学校生活で指導・支援に役立てていきたいと思っています。

9月4日（金）、今年度初めての定期テストである期末テストが実施されます。生徒の皆さんは、担任の先生からこのテストの重要性について何度も聞いていると思いますが、晃陽中の生徒全員が自分の実力を十分に発揮してくれることを期待しています。



新人宇河地区大会の中止について



9月18日（金）から予定されていた新人宇河地区大会も中止となりました。7月中旬から8月初旬にかけて実施された総体宇河地区予選の代替の試合の終了後、3年生が部活動を引退し、2年生が中心になり新人戦にむけてひたむきに練習を重ねてきました。各部とも練習試合を行うなど、個人やチームの実力を伸ばすためにがんばってきましたが、大会中止という残念な決定になりました。しかし、競技によっては、代替の試合を計画している部活動もあると聞いています。先の目標が見えず、モチベーションがなかなか上がらないこともあると思いますが、励まし合ってがんばってください。今は、力を蓄えるべき時です。

文化祭の実施について

10月31日（土）の文化祭は、実施する方向で検討しています。午前中は合唱コンクールと吹奏楽部の発表、午後は生徒会執行部や有志の発表を予定しています。各クラスの合唱曲も決まり、生徒たちの練習の歌声が聞こえるようになってきました。新型コロナウイルス感染症対策により保護者等の一般来校者の参観は不可になると思いますが、『Zoom』を利用し中継することも考えています。



『歯と口の健康週間』入選作品について

7月末のテレビ朝会で表彰をした、『歯と口の健康週間』の入選者と作品について紹介します。いずれも素晴らしい作品で、保健室前に掲示してあります。

○標語の部

・二席



狐塚 有希奈 『自分の歯 守っていけるのは 自分だけ』

・三席

岡本 さゆり 『噛む力 歯みがきすれば パワーアップ』

山口 飛龍 『歯みがきは 食の楽しみ 守るため』

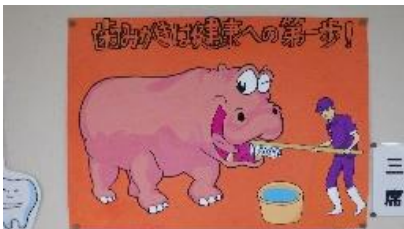
○ポスターの部

・三席

村田 美紅

小堀 花憐

町田 朋香



ちよっといい話?!

「しょうがねえ」と開き直る PHP 9月号

養老孟司（解剖学者）



不安というものは、あって当たり前のものです。不安がないと、人間は危険を察知できません。不安になるからこそ、人間は生きていけるのです。

僕は海外へよく虫捕りに出かけますが、自信過剰の人とは、危なっかしくて一緒に行けません。だって、そうでしょう。ジャングルで毒ヘビに噛まれるかもしれないし、断崖絶壁から落ちるかもしれない。

不安になって用心するのは、動物としての生存本能です。ネガティブな感情だからと排除しなくてもいい。ただ、用心すれば崖から落ちないかといえば、そうではありません。

（中略）

それでは、（不安などの）受け入れにくいものを受け入れて、どっしり構えて生きるには、どうすればいいのか。

もう、それは「しょうがねえ」と上手に開き直るしかありませんよ（笑）。

たまに、東南アジアに虫捕りに行くなんて言うと、「地雷が怖くないですか」などときかれることがあります。これも地雷があるという事実を受け入れるしかない。ジタバタしたって仕方ないでしょう。

昔の人は、それを「覚悟」と言いました。事前に、「ああすれば、こうなる」と頭で考えたって、その通りにならないことのほうが人生には多い。

なるようになる、と思って行動するしか道はないですよ。

